

「呆けても地域の中で普通に生活したい」という願いを実現する

全国宅老所・グループホーム 研究交流フォーラム2001開催要綱

～ ユニットケアを生んだ宅老所・グループホームの实践から学ぶ小規模・痴呆介護の質 ～

痴呆性高齢者が、地域の人との関わりの中でこれまでの生活を継続することを支援する宅老所・グループホームが、介護保険とも相俟って急速に広がっている。

近年は特別養護老人ホームや老人保健施設でも、宅老所・グループホームのような「小規模で家庭的な雰囲気の中で一人一人をたいせつにする介護」に取り組むところが増えて、最近ではそれをユニットケアと呼んで注目を浴びている。

21世紀の幕開けとなる今回のフォーラムでは、痴呆性高齢者が地域社会の中でこれまでの生活を分断されることなく、継続した生活を支援する介護のあり方とスタッフの資質について考える。

宅老所・グループホームの実践者のみならず、特養・老健・療養型・病院・診療所等で痴呆性高齢者の介護に関わっている方々、あるいは在宅介護に関わる介護・看護職や家族介護者・ボランティア、さらには行政関係者や研究者の皆さんにもご参加いただき、さまざまな角度から「痴呆性高齢者の介護（地域生活支援）」の今後の方向を探っていくことを目的に開催する。

1. 日 時

2001年2月17日（土）12:30～18日（日）15:30

2. 会 場

<全体会会場>

熊本市市民会館

熊本県熊本市桜町1番3号

TEL096 (355) 5235

FAX096 (355) 5239

<分科会会場>

熊本市産業文化会館

熊本県熊本市花畑町7番10号

TEL096 (325) 2311

熊本市国際交流会館

熊本県熊本市花畑町4番8号

TEL096 (359) 2020

FAX096 (359) 5112

3. 主 催

「宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2001」実行委員会

宅老所・グループホーム全国ネットワーク

熊本県宅老所・グループホーム連絡会

福岡県宅老所（小規模ホーム）連絡会

佐賀県宅老所・グループホーム連絡会

熊本県

熊本市

熊本県社会福祉協議会

熊本市社会福祉協議会

4. 共 催

特養・老健ユニットケア研究会

5. 内 容 (日程)

第1日目 2月17日 (土)

	時 間	内 容
2月	11:00~12:30	受 付
17日	12:30~13:00	開 会
	13:00~13:50	オープニングトーク -実践者からのメッセージ- 「痴呆性高齢者の生活を支援する宅老所・グループホームの現状と可能性」 ◆パネラー 福岡県宅老所 (小規模ホーム) 連絡会 世話人 田 中 英 子 佐賀県宅老所・グループホーム連絡会 代表 西 田 京 子 熊本県宅老所・グループホーム連絡会 世話人 上 野 恵 子 ◆サポーター 宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 機 谷 和 夫 ◆コーディネーター 立教大学コミュニティ福祉学部 助教授 森 本 佳 樹
	13:50~14:10	報告「宅老所・グループホーム全国実態調査 (中間報告)」 東北福祉大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 山 越 孝 浩 東北工業大学大学院工学研究科博士課程後期建築学専攻 井 上 博 文 日本福祉大学福祉社会開発研究所 研究員 大 橋 美 幸
	14:20~15:40	ディスカッション I 「介護保険時代の痴呆性高齢者の地域生活支援の新たな試み ～宅老所・グループホーム・ユニットケアから見えてきた痴呆介護の新しい“かたち”」 ◆パネラー デイホーム中山の家 (宮城県) 小野寺 道 子 (せんだんの杜・高齢福祉部長) グループホーム曲尾 (長野県) 黒 岩 永 里 子 (高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ・入居事業課リーダー) グループハウス尼崎 (兵庫県) 本 村 嘉 代 子 (特別養護老人ホーム園田苑・主任) 宅老所ささんか (鹿児島県) 黒 岩 尚 文 (デイサービスセンターささんか園・園長) ◆コメンテーター 全国社会福祉協議会 事務局次長兼地域福祉部長 和 田 敏 明 厚生省 (調整中) ◆コーディネーター 日本福祉大学社会福祉学部 教授 平 野 隆 之

6. 参加定員 800人

7. 参加費 10,000円

参考資料代 3,000円 (別途請求)

16:00~17:30	<p>ディスカッションII</p> <p>痴呆性高齢者の生活を地域の中で継続的に支援する</p> <p>「小規模多機能型宅老所（多機能型グループホーム）の実践と可能性」</p> <p>◆パネラー</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 下村 恵美子</p> <p>栃木県保健福祉部 次長 麻生 利正</p> <p>厚生省大臣官房 審議官 辻 哲夫</p> <p>東北福祉大学総合福祉学部 助教授 高橋 誠一</p> <p>◆リポーター</p> <p>季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉田 照雄</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>朝日新聞社 論説委員 大熊 由紀子</p>
17:45~18:30	宅老所・グループホーム全国ネットワーク総会
19:30~21:30	<p>特別分科会・居酒屋で講師とひざを交えて交流懇親会！！</p> <p>・第1会場 ……………世話人 (槻谷和夫・下村恵美子)</p> <p>・第2会場 ……………世話人 (高木敏江・惣万佳代子)</p> <p>・第3会場 ……………世話人・監事 (内海静子・藤本久子)</p> <p>・第4会場 ……………世話人・監事 (澤向裕子・瀬本信吉)</p>

第2日目 2月18日(日)

時 間	内 容
2月18日 9:30~11:30	<p>第1分科会(入門編)</p> <p>◆パネラー</p> <p>グループホーム秋桜(長崎県) 管理者 大関 正昭</p> <p>グループホームひまわり21(熊本県) 代表 吉村 貞子</p> <p>宮崎県呆け老人をかかえる家族の会(宮崎県) 代表 吉村 照代</p> <p>◆サポーター</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク 監事 瀬本 信吉</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク 世話人 澤向 裕子</p> <p>第2分科会(実践編)</p> <p>◆パネラー</p> <p>余暇センターきたじま(佐賀県) 施設長 北島 富子</p> <p>グループホームきなっせきなっせ(熊本県) 代表 山下 順子</p> <p>グループホームふれあいホーム(鹿児島県) 施設長 後藤 博孝</p> <p>◆サポーター</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク 監事 藤本 久子</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク 世話人 内海 静子</p>

第2日目 2月18日(日)

時 間	内 容
2月18日	<p>第3分科会(地域編)</p> <p>◆パネラー</p> <p>宅老所ひだまり(兵庫県) 代表 滝 純 子</p> <p>第2宅老所よりあい(福岡県) 施設長 村 瀬 孝 生</p> <p>熊本市社会福祉協議会 福祉推進課長 松 村 亘</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>兵庫県社会福祉協議会地域福祉部 部長 藤 井 博 志</p> <p>第4分科会(地方自治体の支援編)</p> <p>◆パネラー</p> <p>宮城県保健福祉部長寿社会政策課 課長 鈴 木 隆 一</p> <p>滋賀県健康福祉部 部長 池 口 博 信</p> <p>熊本県健康福祉部高齢保健福祉課 課長 森 枝 敏 郎</p> <p>大分県福祉保健部 部長 安 倍 一 郎</p> <p>◆リポーター</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 高 木 敏 江</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク 世話人 惣 万 佳代子</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>日本福祉大学社会福祉学部 教授 平 野 隆 之</p>
11:30~12:30	休 憩
12:30~13:30	<p>鼎談「痴呆性高齢者が地域で普通に暮らせる“まち”を創造する」</p> <p>宮城県 知事 浅 野 史 郎</p> <p>熊本県 知事 潮 谷 義 子</p> <p>日本放送協会 解説委員 村 田 幸 子</p>
13:30~15:20	<p>ディスカッションⅢ</p> <p>「痴呆性高齢者の生活の質(QOL)とケアスタッフの資質を問う」</p> <p>◆パネラー</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 佐々木 健</p> <p>全国痴呆性高齢者グループホーム協会 代表理事 福 島 弘 毅</p> <p>特養・老健ユニットケア研究会 代表 武 田 和 典</p> <p>高齢者痴呆介護研究・研修センター 主任研究員 永 田 久美子</p> <p>厚生省老人保健福祉局計画課 課長 山 崎 史 郎</p> <p>◆リポーター</p> <p>熊本県宅老所・グループホーム連絡会 代表 川 原 秀 夫</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>京都大学工学部 教授 外 山 義</p>
15:20~15:30	閉 会

6. 参加定員 800人

7. 参加費 10,000円 参考資料代 3,000円(全国ネットワーク会員は1,000円)

全国宅老所・グループホーム

研究交流フォーラム2001 in 熊本

参加登録・分科会・宿泊プラン・宿泊航空セットプラン・観光のご案内

「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2001 in 熊本」が熊本市で開催されますことを心よりお喜び申し上げます。皆様の参加・分科会・宿泊・航空便・観光のお申込みのお世話をJTB熊本支店が担当させていただくことになりました。社員一同、全力をあげて準備いたす所存でございます。多数のご参加を心よりお待ちしております。

JTB熊本支店

1. 参加登録について

参加費 1名様につき 10,000円

参考資料代 3,000円（全国ネットワーク会員の方は1,000円/1会員1名のみ）
※ただし、申込欄に会員番号を記載された方に限ります。

■参加ご希望の方は、添付の申込書に必要事項をご記入の上、JTB熊本支店宛に平成13年1月16日（火）までにFAXまたは郵送にてお送り下さい。

なお、締切前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきますので、お早めにお申込み下さい。参加登録申込書は、宿泊プラン・宿泊航空セットプラン・観光プランの申込書も兼ねておりますので、参加登録と同時に申込みをお願いいたします。

2. 分科会について

■2月18日（日）9:30～11:30に分科会を開催いたします。

- ・第1分科会（入門編）……………熊本市民会館（大ホール）
- ・第2分科会（実践編）……………産業文化会館（大ホール）
- ・第3分科会（地域編）……………国際交流会館（ホール）
- ・第4分科会（地方自治体の支援編）……………産業文化会館（5・6ホール）

ご希望の分科会番号を添付の申込書「参加希望分科会」欄へ第2希望までご記入の上、お申込み下さい。

3. 交流懇親会について

参加費 1名様につき 6,000円（居酒屋で講師とひざを交えて懇親します）

■2月17日（土）19:30～21:30に交流懇親会を開催いたします。

- ・第1会場 ……………世話人 （梶谷和夫・下村恵美子）
- ・第2会場 ……………世話人 （高木敏江・惣万佳代子）
- ・第3会場 ……………世話人・監事（内海静子・藤本久子）
- ・第4会場 ……………世話人・監事（澤向裕子・瀬本信吉）

ご希望の懇親会番号を添付の申込書「交流懇親会」欄へ第2希望までご記入の上、お申込み下さい。尚、会場名及び会場案内図につきましては、1月下旬頃までにその他の案内文書とあわせてお送りいたします。

8. 取り消し・変更のご案内

ご都合により予約を変更又は取り消しされる場合は、必ずFAXにてご連絡下さい。取消申出日より下記の取消料がかかる場合がございますのでご了承ください。(取消受付日は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼった日です。)

■宿泊プラン取消料

取消受付日	4日前まで	3日前以降	当日	当日以降及び無連絡
取消料	無料	20%	50%	100%

■宿泊プラス航空券セットプラン

取消受付日	20日目以降	7日目以降	前日	当日	当日以降及び無連絡
取消料	旅行代金の20%	" 30%	" 40%	" 50%	" 100%

■観光プラン

取消受付日	20日目以降	7日目以降	前日	当日	当日以降及び無連絡
取消料	旅行代金の20%	" 30%	" 40%	" 50%	" 100%

※参加費・交流懇親会につきましてはご返金できませんのでご了承下さい。

9. 申込方法・お支払方法のご案内

- ①別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、平成13年1月16日(火)までに郵送またはFAXにてお申込み下さい。
- ②申込締切後、1月下旬頃までに、各施設宛にご案内の文書・確認書・請求書を発送いたします。請求書到着後、当社指定口座へご送金をお願いします。(銀行振込における手数料は、お客様負担となりますので、予めご了承下さい。)
- ③お申込み1名様につき通信連絡費・取扱料金として、400円をいただきますのでご了承下さい。

★お申込み・お問い合わせ先(参加登録・宿泊関係)★

J T B 熊本支店

(2001年1月1日より社名がジェイティビーに変わります。)

住所：〒860-0807 熊本市下通り1-8-22

「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2001 in 熊本」係

担当：山下、鰐口、松本

TEL：096-322-4114

FAX：096-325-8105

受付時間：平日9時30分～17時30分

土曜9時30分～12時30分(日・祝は休業)

※12/30～1/3は休業させていただきます。

★フォーラムの内容についてのお問い合わせ先★

「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2001」実行委員会事務局

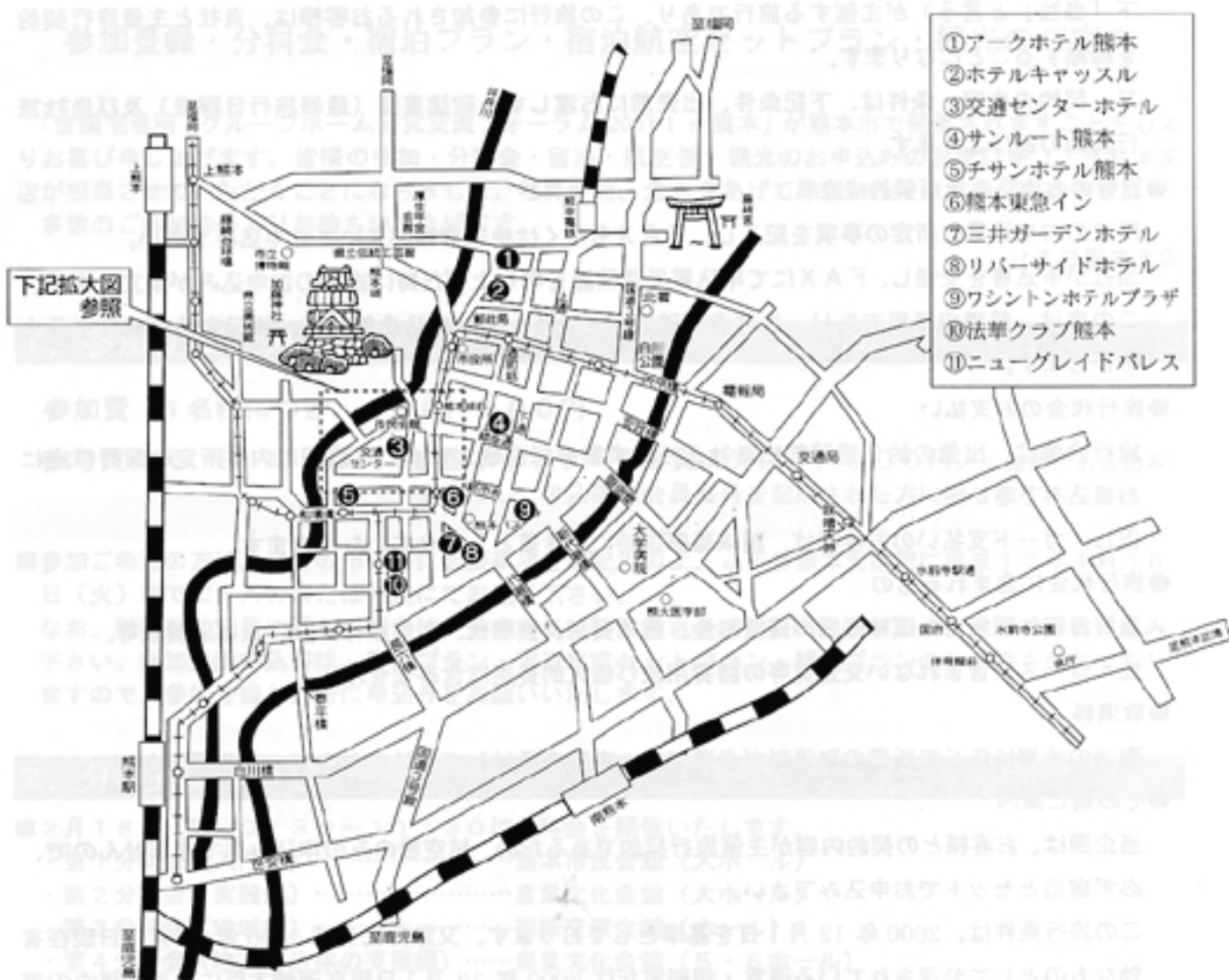
住所：〒981-0942 宮城県仙台市青葉区貝ヶ森2-6-4

TEL：022-727-5830

FAX：022-727-5831

フォーラム会場・ホテル案内図

- ①アークホテル熊本
- ②ホテルキャッスル
- ③交通センターホテル
- ④サンルート熊本
- ⑤チサンホテル熊本
- ⑥熊本東急イン
- ⑦三井ガーデンホテル
- ⑧リバーサイドホテル
- ⑨ワシントンホテルプラザ
- ⑩法華クラブ熊本
- ⑪ニューグレイドパレス



ご旅行条件書（要約）

●主催旅行契約

この旅行は、(株)日本交通公社（東京都千代田区丸の内 1-6-4 運輸大臣登録旅行業第 64 号。以下「当社」と言う）が主催する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は、当社と主催旅行契約を締結することになります。

又、契約の内容、条件は、下記条件、出発前にお渡しする確認書面（最終旅行日程表）及び当社旅行契約の部によります。

●旅行のお申込み及び契約成立

所定のお申込書に所定の事項を記入し、FAXもしくは申込書類郵送にてお申込み下さい。

当社が申込書を受領し、FAXにて申込書受領確認を申し上げた時に旅行のお申込みが成立します。

この度は、組織内募集であり、主催者が確定しているため、申込金無しで、旅行申込が成立するものとします。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、出発の約 2 週間前に当社より請求書を郵送致します。1 週間以内に所定の銀行口座にお振込み下さい。

但し、カード支払いのお客様は、請求書郵送時に引き落としさせていただきます。

●旅行代金に含まれるもの

旅行日程に明示した運輸機関の運賃料金、宿泊費用、食事代、主催旅行保険、及び消費税等。

注：コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません。

●取消料

取消の時期に応じて所定の取消料が必要です。内容を添付しておりますので、ご参照下さい。

●その他ご案内

当企画は、お客様との契約内容が主催旅行契約であるため、航空機のための申込みはできませんので、必ず宿泊とセットでお申込み下さい。

この旅行条件は、2000 年 12 月 1 日を基準としております。又旅行代金は 2000 年 12 月 1 日現在有効なものとして公示されている運賃・規則または 2000 年 12 月 1 日現在運輸大臣に許可申請中の運賃・規則を基準として算出しております。

当主催旅行について不明な点は、JTB 熊本支店までお問い合わせ下さい。

TEL：096-322-4114 一般旅行業取扱主任者 原 浩志 担当：鰐口 重春

旅行主催 日本交通公社

運輸大臣登録旅行業第 64 号

東京都千代田区丸の内 1-6-4 〒100-8264



ボンド保証会員

(社)日本旅行業協会正会員

2001 年 1 月 1 日より主催会社名及び住所が下記に変更となります。

主催会社名：ジェイティービー

住所：東京都品川区東品川 2-3-11 〒140-8602

日本交通公社

FAX：022-777-5831